

入院診療計画書

幽門側胃切除術

患者氏名

様

外科

月日	入院日	手術前日	手術当日(術前)	手術当日(術後)	術後1日目	術後2日目	術後3日目	術後4日目	5・6日目	7・8日目	9～14日目
1 治療 処置		手術する部位の毛を カットします。 おへそをきれいにしま す。  昼食後～手術当日朝 まで抗生剤内服あります。 ()時頃に下剤 を飲みます 希望に応じて、22時頃 に睡眠薬を飲みます。	()時(分)にストッキング をはきましよう。  ()時(分)に手術室に 迎います。(歩行又はベッド)  手術室へ 行きます	創の状態を見ながら、ガーゼ を替えます。 酸素マスクをします。 手術中に胃管を入れます。 *自分では抜かないようにし て下さい。 点滴はしばらく持続します。 抗生剤の点滴を行います。 手術中に痛み止めの管を背中 に入れます。(持続的に痛み み止めが入っています) *痛みが強い時は痛み止めの点滴をします。	回診医によるガーゼ交換があります。 その他に定期的に看護師でガーゼ交換を行いま す。 医師の許可で酸素マスクを外します。 医師の許可で胃管が抜けます。 漢方薬内服 				糸を2日かけ 退院可能となる見込みです で抜きます。		
2 検査				血液検査があります。 レントゲン撮影があります。	血液検査が あります。		血液検査が あります。		血液検査が あります。	血液検査が あります。	
3 観察	入院時、検温を行います。 入院時、身長と体重を測ります。		()時頃に検温をします。	1時間毎に検温します。 落ち着けば2～3時間毎になります。	検温をします (10時と20時)		検温をします (10時)				
4 食事	低残渣食 又は常食	欠食です。 ()時まで水分を 取ることができます。	飲んだり食べたりするこ とはできません。		医師の許可 で水分をと ることができ ます。		状態が良ければ食事が開始されます。 流動食 → 三分粥→五分粥→全粥 				
5 排泄			朝()時に浣腸をします。 便が出たら流さずお知らせ 下さい。	手術中におしっこの管を入れ ます。			おしっこの管を抜きます。 排ガス、排便を確認します。 				
6 活動 看護度	特に制限はありません。			ベッド上安静です。 麻酔から覚めたら、背中に枕 をかたり、体を動かすこと ができます。 	ベッドを起こしながら 少しずつ座る 練習をします 		少しずつ歩く 練習をします。 				
7 清潔	爪を切り、マニキ ュアをとります。	毛をカットした後、入 浴できます。		麻酔から覚めたら、時々うが いをします。	体を拭き、着替えをします。 						傷の状態によってシャ ワーや入浴ができます
8 説明 指導	看護師が手術前 後について説明 します。	医師が手術、麻酔に ついて説明します。 手術室へ持っていく 備品を確認します。	手術中は家族の方は病室 か談話室でお待ちください。 病棟から離れる時は、看 護師にお知らせください。	医師から手術結果の説明が あります。 							退院の説明と生活指導 を行います。
9 到達目標	1. 手術の説明が理解でき、不安なく手術を受けることができる。			2. 手術が無事終了し、状態が安定する 3. ベッド上安静が、安全・安楽に保つことができる 4. 鎮痛剤によって痛みのコントロールができる			5. トイレ歩行ができ、日常生活に自信 がもてる 6. 排ガスがあり、食事摂取ができる			7. 食事の食べ方に慣れていく 8. 退院後の生活に自信がついてくる	

主治医: _____

担当看護師: _____

注1: 病名は、現時点で考えられるものであり、今後検査等を: 変わりうるものである。
注2: 入院期間については、現時点で予測されるのもである。

退院基準
<input type="checkbox"/> 高い熱がでない
<input type="checkbox"/> 食事が半分食べられる

私は上記の説明を受け納得したので、この度手術、検査、治療を受けることを同意します
なお、上記説明書類の写しも受領しました。

平成 年 月 日 患者氏名 代諾者 患者との関係